

女性活躍に関するこれまでの取り組み

■継続就業

- ・子育て中の社員の情報共有やネットワークづくりの支援
- ・従業員も利用できる「なないろ保育園」の開設（事業所内保育事業）
- ・介護中、これから介護を迎える社員に向けて「仕事と介護の両立ハンドブック」を提供

■労働時間

- ・iPad貸与、IT活用による生産性向上
- ・在宅勤務の制度化、スライドワークの拡大による働き方改革
- ・年次有給休暇の取得促進（年2回の長期休暇取得促進、営業部門向け休日取得促進日設定）

■管理職比率

- ・女性管理職候補者層を対象とした研修「なでしこアカデミー」を開催

■多様なキャリアコース

- ・パートナー社員（契約社員）の正社員登用
- ・立候補によるグループ各社への出向・転籍（セブン&アイ キャリアチャレンジ制度）
- ・立候補による社内他部署への異動（セブン・イレブン・ジャパン立候補制度）

セブン&アイグループの取得状況	
3段階目取得	
セブン&アイ・ホールディングス そごう・西武 セブン・カードサービス ニッセン	イトーヨーカ堂 セブン銀行 セブン・フィナンシャルサービス ニッセンライフ
2段階目取得	
セブン・イレブン・ジャパン	セブン&アイ・フードシステムズ

三者の協同により、地域社会と一体となったペットボトルリサイクル活動に取り組み、「循環経済社会の実現と海洋プラスチックごみの削減を進めます。」



セブン・イレブンでは、2017年より店頭への「ペットボトル回収機」の設置を開始。東京都・神奈川県・埼玉県・茨城県・沖縄県内の店舗で527台（2021年1月末）設置しています。

イトーヨーカドーは、羽毛製品の適正処理と再資源化を目的に設立された「Green Down Project」に参加し、店頭で回収・リサイクルして作られたダウン商品を全国のイトーヨーカドー約70店舗（2020年11月時点）で販売開始しました。今後も、このような環境配慮型商品の開発などを通じて、持続可能な社会の実現に取り組みしていきます。



『GALLORIA リサイクル グリーンダウン』（左）と『KENT リサイクル グリーンダウン』（右）

『えるぼし』について
女性活躍推進法に基づき、一定の基準を満たした場合に厚生労働大臣から受けられる認定マークです。評価を満たした項目数に応じて、認定の段階が3段階に分かれています。

セブン・イレブン・ジャパンは、女性の活躍推進が優良な企業として、認定マーク『えるぼし』の2段階目を取得しました。5つの評価項目のうち、「継続就業」「労働時間」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の4項目で認定基準を満たしました。今後も、多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に推進していきます。

企業情報

セブン・イレブン・ジャパン

認定マーク『えるぼし』
2段階目取得

10月1日

5 女性活躍推進法

セブン・イレブン・ジャパンは、横浜市と日本財団とともに、限りある資源の有効な活用と、海洋ごみ対策を目的としたペットボトル回収事業を開始しました。実施にあたり、横浜市内のセブン・イレブン120店舗にペットボトル回収機を新たに設置。回収したペットボトルは資源化され、新たなペットボトルなどに生まれ変わります。

企業情報

セブン・イレブン・ジャパン

政令指定都市初
横浜市と回収事業を開始

10月30日

14 資源の有効な活用

12 つくば環境

ヨークベニマルは、「ヨークベニマル南中山店（宮城県仙台市泉区）」で『電話で宅配』（電話注文宅配サービス）をスタートしました。『電話で宅配』サービスの実施店舗は福島県の店舗を含め3店舗目となります。2018年7月に福島県内で実験をスタートしたこのサービスは、対象は店舗の全商品にわたり、従業員が配達。日常のお買物にお困りのお客様に好評をいただいております。今後順次拡大していく予定です。

新サービス

ヨークベニマル

『電話で宅配』サービスが
宮城県でもスタート

11月4日

11 電話注文宅配サービス

社会・環境活動

イトーヨーカ堂

リサイクルグリーンダウン
を使用したダウン販売開始

11月10日

12 つくば環境

NEWS & TOPICS

グループ各社の注目ニュースをお届けします

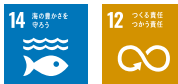
2020年10月
-2021年1月

CLOSE UP 1

企業情報

セブン&アイHLDGS.
循環経済社会の達成に向けた
『PETボトルリサイクル工場』
2022年稼働を目指す

10月29日



セブン&アイHLDGS.は、ヴェオリア・ジャパン株式会社、三井物産株式会社と、西日本に新設するPETボトルリサイクル工場の合併事業に係る株主間契約を締結しました。合併会社を設立し、2022年の工場稼働を目指します。

セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の目指す姿の一つである「循環経済社会」の達成に向けたプラスチック対策において、新設のPETボトルリサイクル工場に対し、店舗における廃ペットボトルを供給します。また、セブンプレミアムなどオリジナル商品の容器でリサイクルPET素材の使用を検討しています。

ヴェオリアはペットボトルリサイクル事業を中核事業の一つとする世界的な環境サービス企業大手で、世界10拠点でペットボトルのリサイクル工場を運営しています。

三井物産は本事業を皮切りに国内外で廃プラスチック問題などの解決を通じた同様の案件を検討・推進していきます。3社は本取り組みを通じ、今後さらなる環境負荷の低減を推進し、豊かな地球環境を未来世代につないでいくため、循環経済社会を目指します。

CLOSE UP 2

企業情報

セブン&アイHLDGS.
『RE100』に参画し
再生可能エネルギー利用を推進

12月15日



セブン&アイHLDGS.は、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目指す国際的イニシアチブ『RE100』に参画しました。今回の参画に当たっては、持続可能な脱炭素社会実現を目指す企業グループである、日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）に支援を受けています。セブン&アイグループは環境宣

言『GREEN CHALLENGE 2050』において、CO₂排出量削減を重点テーマの一つに掲げております。このたび、店舗運営に伴うCO₂排出量削減の目標についても、当初の「2050年までに80%以上削減」から、「2050年までに実質ゼロ」に見直し、豊かで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを一層推進していきます。

GREEN CHALLENGE 2050

4つのテーマを定め、2050年までに
目指す姿を宣言します。

目標 1

CO₂排出量削減
●グループの店舗運営にともなう排出量（2013年度比）
2030年 目標 / 30%削減 ▶ 2050年 目標 / 実質ゼロ

目標 2

プラスチック対策
●プラスチック製レジ袋の使用量
2030年 目標 / 使用量ゼロ
●オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する容器を、環境配慮型素材（バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙、等）に切り替え。
2030年 目標 / 50% ▶ 2050年 目標 / 100%

目標 3

食品ロス・食品リサイクル対策
●食品廃棄物の削減
発生原単位（売上百万円あたりの発生量・2013年度対比）
2030年 目標 / 50%削減 ▶ 2050年 目標 / 75%削減
●食品廃棄物のリサイクル率
2030年 目標 / 70% ▶ 2050年 目標 / 100%

目標 4

持続可能な調達
●オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料を、持続可能性が担保された食品原材料に切り替え。
2030年 目標 / 50% ▶ 2050年 目標 / 100%

『GREEN CHALLENGE 2050』
新WEBページはこちら

新サービス

セブン・西武

百貨店初！触れずに採寸
非接触採寸システム導入

11月17日

3 非接触 採寸システム

そごう・西武では、非接触採寸システムとして「BodyScan（ボディグラム）」のAI採寸技術を導入しました。専用アプリを使って撮影するだけで高精度な採寸が可能です。そごう横浜店と西武池袋本店の紳士服売場でトライアル期間を経て、他の店舗・売場への導入を検討します。



正面と側面の全身写真を撮影するだけで高精度な採寸が可能。

企業情報

セブン&アイHLDGS.

ESG投資の指標DJSIの
構成銘柄に11年連続で選定

11月20日

セブン&アイHLDGS.は、「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)」の「Asia Pacific Index」の構成銘柄に11年連続で選定されました。

DJSIとは、米国のS&Pダウ・ジョーンズ社とスイスのRobecoSAM社が共同で開発した株価指数です。ESG指数として世界的に著名な指数の一つであり、「経済」「環境」「社会」の3分野における総合的な視点から企業を評価しています。

社会・環境活動

イトーヨーカ堂

全国で新型コロナウイルス
医療従事者の支援募金を実施

12月1日

3 非接触 募金システム

イトーヨーカドーは、2020年12月1日～2021年2月28日の3カ月間、全店舗の会計レジにて「新型コロナウイルス感染症等医療従事者支援」のための募金を実施しました。

セブン&アイHLDGS.は2020年4月17日～5月31日に新型コロナウイルス感染症対策の支援募金を実施し、日本財団に1億1829万円の寄付をしました。寄付は、医療従事者の防護やケア、感染防止体制の強化のために活用されています。期間中に集められた募金も日本財団を通じて支援にあてられます。

企業情報

セブン&アイHLDGS.

大豆ミート入りの
ハンバーグ2品を発売

12月7日

15 環境配慮 食品

セブン&アイHLDGS.は健康志向や環境意識の高まりに 대응するため、大豆ミートを使用した『セブンプレミアム 大豆ミートと牛肉のハンバーグ』の販売を開始しました。市場が拡大し、たんぱく質を手軽に摂取できる食品として注目を集めている大豆ミートを、畜肉に代わる原材料として使用。今後とも「安全・安心」と「おいしさ」にこだわりながら、価値ある商品の開発を通し、お客様ニーズにお応えしていきます。



ソースは2種類。グループのスーパー約500店（2020年11月末時点）にて販売。

社会・環境活動

セブン・イレブン・ジャパン

CO₂排出量54%削減
省エネ店舗の実証実験を開始

11月25日

7 省エネ 店舗

セブン・イレブン・ジャパンは、最新の設備・技術を利用した省エネの実証店舗として、「セブン・イレブン青梅新町店」をオープンしました。本店舗は、グループの環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」に基づき、店舗運営に伴うCO₂排出量削減の取り組みの一環として高効率の太陽光パネルの採用や空調効率の良い建築にするなど、さまざまな省エネ建物・設備および創エネ・蓄エネ設備を導入した店舗です。2013年度対比で、外部調達電力については43%削減、CO₂排出量については54%削減※を見込みます。また、本店舗での試用・実証を足がかりに、可能なものから全国の店舗への拡大を検討していきます。

セブン・イレブンでは、これまでの「ひとと環境にやさしい店舗」などの取り組みに加え、本取り組みを通じ、将来に向けたCO₂排出量の大幅な削減に努めます。

※CO₂排出量は電気
使用量（kWh）
×CO₂排出係数
（t-CO₂/kWh）で算出



店内設備では、LED配灯の見直し、ウォークイン内扉仕様の変更、店内の正圧化、チルドケースエアカーテン性能向上、冷蔵冷凍設備のオートクリーンフィルターなど、さまざまな省エネ設備を導入。

社会・環境活動

セブン&アイHLDGS.

『水素バリューチェーン
推進協議会』に参画

12月7日

7 省エネ 店舗

セブン&アイHLDGS.は、サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、水素社会の早期構築を目的とする「水素バリューチェーン推進協議会」に参画しました。

セブン&アイグループは、主に物流分野における省エネルギー・CO₂削減の取り組みの一環として、水素の利用を促進したいと考え、協議会の皆様とともに水素利用の可能性について模索していきます。

社会・環境活動

セブン・イレブン・ジャパン

燃料電池小型トラックの導入
を目指した取り組みを開始

12月8日

7 省エネ 店舗

セブン・イレブン・ジャパン、ファミリーマート、ローソン、トヨタ自動車、日野自動車の5社が共同し、燃料電池（FC）小型トラックの導入を視野に検討を進めるとともに、将来の普及に向けた環境整備に取り組むことで合意しました。

5社は共同で、国や自治体、水素ステーション事業者などとの連携を図り、物流現場でのFC小型トラックの運用を通じてさまざまな施策を検討し、課題の改善や解決に取り組み、小型トラックのみならず商用車・乗用車を含めたFC車両の普及に向けた環境整備を推進していきます。

受賞

赤ちゃん本舗

「第13回ペアレンティング
アワード」を受賞

11月25日

赤ちゃん本舗の「スマホdeサポート」が、第13回ペアレンティングアワードのコト部門を受賞しました。その年に話題を集めた「子育てトレンド」を表彰するアワードに選出されたのは、自宅にいながら商品選びの相談ができるサービスです。子育てファミリーがストレスなく、お買物を楽しめる仕組みを提供しています。



マタニティアドバイザーなどの専門知識を持ったスタッフがオンラインで対応。

受賞

イトーヨーカ堂

マザーズセレクション
大賞を受賞

11月27日

11 子育て 支援

イトーヨーカ堂が運営する宅配サービス「イトーヨーカドーネットスーパー」が、一般社団法人日本マザーズ協会が主催する「マザーズセレクション大賞」を受賞しました。便利、元気になる、癒やされる、役立つなどの点から一般のママたちの投票で選出されるアワードです。母子手帳を提示すると妊娠中から4年間、配達料金を102円でご利用いただけることや時間指定ができる、水などの大きなものが買えることなどが、今回評価されました。

企業情報

イトーヨーカ堂

『安心カウンター』を設置し
感染拡大防止策を強化

12月19日

3 非接触 募金システム

イトーヨーカドーは35店の店舗入口に、お客様ご入店時に手洗いや手指消毒、検温を行っていただける『安心カウンター』を設置しました。『安心カウンター』には、アルコール消毒液と、検温装置を設置。また、量販店では初となる水道いらずのポータブル手洗いスタンド「WOSH」も設置しました。周辺には、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたイトーヨーカドーの取り組みを紹介するボードを掲出、さらに安心してお客様にお買物いただけるようにしています。

これまでもイトーヨーカドーでは、店内設備などの定期的な消毒や、シニア・妊婦などに向けた「おもいやり優先レジ」の設置など、安全・安心に向けた感染拡大防止の取り組みを徹底してきました。今後もさまざまな対策を図ることで、皆様の安全・安心を守る対応を継続します。



『安心カウンター』設置の一例。AIを活用した自律分散型水循環システムを搭載した、水循環型ポータブル手洗い機「WOSH」は、水道のない場所にも設置可能。スマートフォンのUV除菌機能も搭載しており、手洗い後の手をきれいな状態に保ちやすくなります。

株主アンケートの御礼と結果のご報告

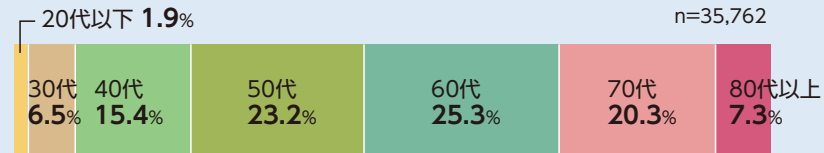
2020年11月から12月にかけて、2020年8月末時点での株主様を対象としてアンケートを実施いたしました。株主の皆様におかれましては、アンケートにご回答いただき誠にありがとうございました。アンケート結果（抜粋）をご報告させていただきます。

※記事内グラフは有効回答数（n）に基づく

■アンケートの実施結果

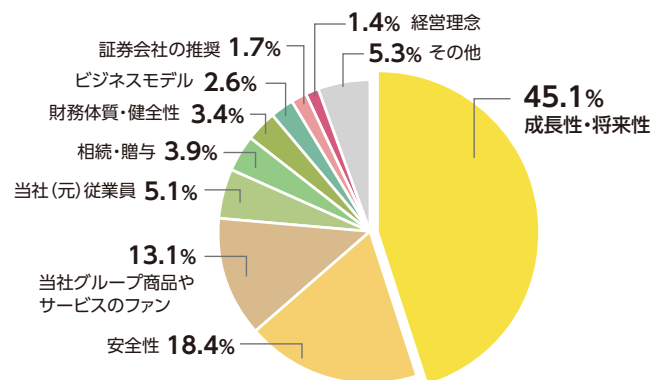
回答総数：**36,194**通
(回答率 41.2%)

全13問の記号・記述ありアンケートを実施



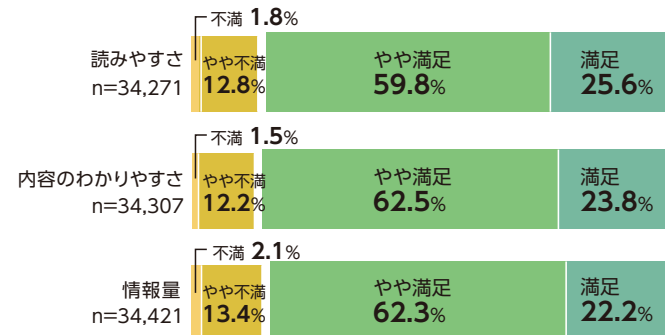
Q1. 当社株式の取得理由

n=36,388（※一部複数回答を含む）



当社の成長性・将来性へのご期待が多いことがわかりました。今後も引き続き、経営努力を続けてまいります。

Q3. 株主通信『四季報』について

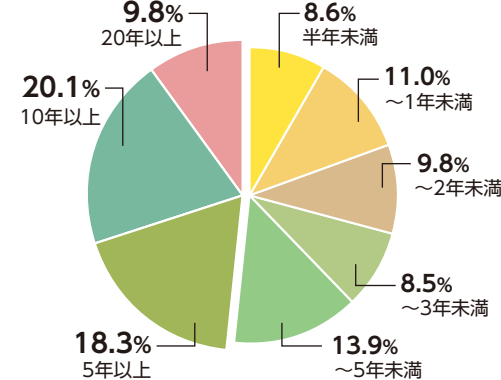


四季報については、総じて満足というご回答をいただきました。今後もより充実した情報を提供できるようにしてまいります。

その他にも、株主の皆様より多数の貴重なご意見をいただいております。今後のIR・SR活動をはじめとした情報配信、各種施策など企業価値向上のために役立ててまいります。引き続き格別のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

Q2. 当社株式の保有期間

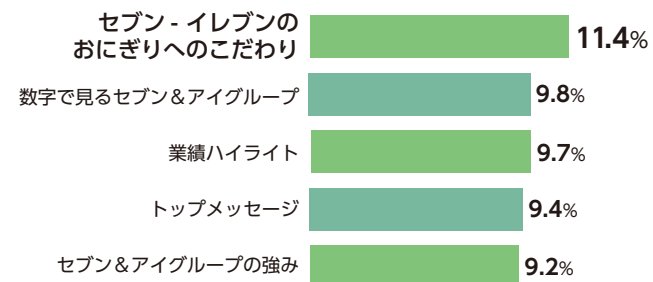
n=35,851



当社株式の保有期間は5年以上の株主様で、ご回答された株主様全体の約半数を占める結果となっております。

Q4. 当社ホームページ「個人投資家のみなさまへ」興味を持ってお読みいただいたページは？

n=34,861



※上位5項目を抜粋

「個人投資家のみなさまへ」該当ページ <https://www.7andi.com/ir/individual.html>

業績ハイライトなどをはじめ、経営面への関心が高い中、「セブン・イレブンのおにぎりへのこだわり」についてが最も関心が高い結果でした。

受賞

「こども靴下取りサービス」で
企業フィランソपी賞を受賞

12月28日



そごう・西武では、2009年からお客様とともに実施している「こども靴下取りサービス」の途上国支援活動が評価され、企業フィランソपी賞【海を渡る100万足賞】を受賞しました。この活動は、お客様から履かなくなった子ども靴をお預かりし、公益財団法人ジョイセフを通じてザンビア共和国に届け、子どもたちの足を寄生虫病や破傷風から守るとともに、靴を受け取りに来た母親たちに向けての安全な出産や育児についての教育を行うことで、子どもだけではなく母親の命を守るための取り組みとなっています。今回の受賞においては、店舗を活用した気づきと、お客様参加型の場づくりを行い、ザンビア共和国と日本の子どもたちの懸け橋となる活動が高く評価されました。今までに下取りした靴は100万足を達成しました。そごう・西武では今後も、お客様やお取引先様、従業員と一緒に、さらには「次世代に続く豊かなくらしづくり」に取り組めます。



各店子ども服売場にて、履かなくなった子ども靴をお預かりし、ザンビア共和国に届けます。

企業情報

「百貨店が売っていたのは、希望でした。」メッセージを発信

1月4日

そごう・西武は、メッセージ「わたしは、私。」を発信。5年目となる2021年は「百貨店が売っていたのは、希望でした。」と題するコピーを中心にメッセージを展開。メッセージに込めたのは「お客様お一人お一人の希望をかなえるお手伝いをしたい」という思いです。レシートに記載されたお買物の記録はお客様の「希望」を象徴するものであると考え、レシートをメッセージに使用し、店内ポスターや新聞広告などで発信しています。



企業情報

セブン&アイ・フードシステムズ
デニーズの販売を通じて
医療従事者などへの支援を実施

1月14日



セブン&アイ・フードシステムズは、1月16日（2月28日の期間中、お客様にテイクアウト・宅配メニューをご購入いただいた売上の一部を支援団体を通じて寄付することとし、医療従事者などへの支援を行う取り組みを実施します。

OPEN情報

■ 10月9日(金)	北千住ロフト	東京都足立区千住旭町42-2 ルミネ北千住5階
■ 10月30日(金)	イトーヨーカドー新田店	埼玉県草加市旭町6-15-30
■ 11月12日(木)	イトーヨーカドー朝霞店	埼玉県朝霞市根岸台3-20-1
■ 11月13日(金)	ヨークベニマル郡山島店	福島県郡山市島2-48-1
■ 11月18日(水)	アカチャンホンポ弘前 イトーヨーカドー店	青森県弘前市大字駅前3-2-1 イトーヨーカドー弘前店5階
■ 11月18日(水)	ロフト弘前店	青森県弘前市大字駅前3-2-1 イトーヨーカドー弘前店1階
■ 12月1日(火)	OSHMAN'S 銀座店	東京都中央区銀座2-2-14 マロニエゲート銀座1/4階
■ 12月3日(木)	イトーヨーカドー西川口店	埼玉県川口市西川口2-3-5

中国成都に直営2店目

2021年
1月29日

ロフトの子会社「ロフト商貿(成都)有限公司」は、1月29日(金)に海外直営店「双楠(シュアンナン)ロフト」を中国四川省、成都イトーヨーカ堂双楠店にオープンしました。

海外直営店としては、2020年7月上海にオープンした徐家匯(スージャーホイ)ロフトに次ぐ2店目となります。ファミリー層を意識した品揃えで、日本の雑貨の“今”を展開します。